

1984, 5. MILTON

250YEN



INTEVIEW なぶこのジメこ

► 今のメンバーは、どうやって集めたんですか

イ．Vo．のヒロトモと俺が昔から知り合ってて、それでヒロトモの友達の友達がマルちゃんとヒロシで、演ろうかって形で．

► 結成からデビュー・ステージ（吉祥寺・GATTY）までの1ヶ月間、どんなことしてました？ 曲づくりとか・・・

ヒ、曲は、大体たまってたのがあって、練習だけ演った．

► "アブラダコ"と言うBand名の由来は？

トモ、あれは、まあ～ だから、まあ～ 別にィ～ 意味は無いんだよね 意味が無いのを、まあ条件と言う事で．

（トモ→ひろとも、イ→いずみ、マル→マルイ、ヒ→ひろし）

► イズミさんは昔"チフス"にいて、Vo．だったんですよね、その前は何をしてたんですか．

イ．自分のBand演ってたんだけど、パッとしなくて、解散した．

► ギターは、いつから始めました？

イ．アブラダコ始まってからかな！

► ヒロトモさん、前のBand名（変態クラブ）の由来なんか聞かせて下さい．

トモ．あれもまあ～意味が無いから、結局～ いやねぇ、同じアパートにね、"変態"って奴がね、住んでてね、何んか狂ってたんだよね だからね ～面白いんじゃないかと思って… それで何んか字を書かせたら"変態"って言う字がうまいんだよね（笑）

それで変態クラブと…



► "変態"と言う言葉を聞いて何を連想しますか

トモ．愛

► そのBandはどれくらい続いたんですか

トモ いちーねんー 1年ぐらいかな あっうそうそ 3ヶ月（笑） それ辞めた後 1人でちょっとパフォーマンスと言うか…パントマイムみたいな感じが好きで、やってて それとイズミと色々やってた。

► マルイさんは細い身体して、もの凄いドラムがエネルギッシュでしょ!! 何か食べてるんですか

マル 飯は喰うけどさあ～かなりさあ～（納豆）どうだろうね、体かづくりも全々してないよ ドラム始めたのは3年ぐらい前かな．

► "リップクリーム"というBandにも所属してますよね 今度レコード出すとか？

マル いちおうレコーディングして YOU（LAUGHIN' NOSEのレーベル）に送ってある．発売は5月頃。

► 一言、どんな感じのBand？

格好良いよ！ 道楽バンド



► ヒロシさん、Bassはいつから始めたんですか

ヒ 3年近くなる、特別、習いに行ったとかじゃなくて、全部自分でやって

► アブラダコする前は何をしてました？

別に何もやってないけど 遊びでBand作ってた "KID BOX"って奴．本格的なのはっちゅうか、ここまで来たのはアブラダコが始めて



► 曲は主に誰が作っているんですか

トモ 曲は大体俺が創って持って来て全員で試行錯誤して、それで作っていると

► 歌詞の内容とか、どんな事うたってますか

トモ どんな事って言うのは…別に無いですね

► 特別、政治をうたっているとか

トモ ああ たまには政治もうたっても～いいね（笑） そういうの意識しては創ってないわけね

► メッセージ性なんかは考えてますか

トモ まあ それは個人個人の受け止め方だから、それは聴いた人に任せると．

► 今、オリジナルは、どれくらい？

トモ 12～13曲かな．

ヒ 演らない曲 入れれば20曲近く

► お客に望むことは？

トモ それは自由であってほしいね いくら暴れようが 坐っていようがさ、自由の好きな勝手にやってほしい

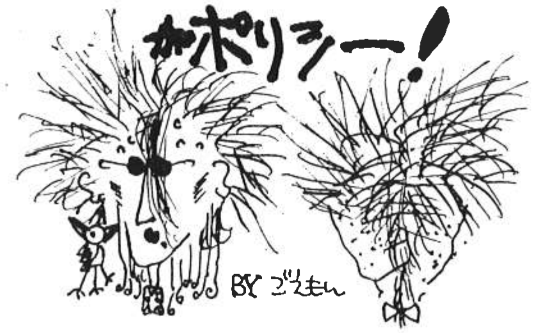
► Bandのポリシーなんかは？

トモ ・・・・・・ ポリシーは無いね

マル ノンポリシーがポリシー！

トモ そう、だからカセットを持ち歩くし）

ポリシーがノンポリシー がポリシー！



BY ごえもん

特にポリシーを重要と考えてない？

全員　どーかなあ～　う～ん

トモ　まあ重要と言うよりもまあ総てを
ノンと（笑）ああNo! No!

(マル)　Nothing！

トモ　そうそう　Nothing

イ　総ては自然に還ると

トモ　（笑）訳わかんねー事！



► これからのBandの方向性は？

トモ　方向性とゆーのはDance Music
でありたい（笑）・・・
いろいろあるけど、結局はBandというのも人間と言うのも変って行く変化があってのみの物体だから方向性とゆーのは過去の事だね（笑）

► レコーディングを体験してみて、どうでしたか？

(マル)　かったるい

イ　そうね一時間が少なかったからもうちょっと長く演りたかった

(マル)　やっぱり経済面がどうしてもね。資本に左右されるから。

ヒ　マルイ経済学士。オレ文学士。
イズミは？

(マル)、農学士！（笑）

► ソノシートの方でかなり不満があったそうですが

イ　俺の場合はギター演ってあんま経ってなかったからうまく弾けなかったっちゅうのがある。

ヒ　やっぱ時間もなかったし、1日で録ったやつだから・・・

トモ　俺も、そうだね

(マル)　あんまり聴いてほしくないとゆー感じ。
ソノシート聴いた印象で見て欲しくない

トモ　そーね　それは言える

(マル)　まあ、あいつも俺らには違いないんだけどね

► 曲（原爆）が終わってから最後に入っているのは何か意味でも？

(マル)　あれはスローガン！

トモ　スローガン？（笑）何んだよ　それ、
あれは芸術～・・・

イ．あれを入れて他の曲にリアリティーを出そうと思ったんだけどコミックに取られて。失敗に終わりました。

ヒ．まあ　あれは一種の　〇〇〇〇！
最近の若いもんは昭和っちゅうことを知らない！

(マル)　最近の若いもんは口のきき方を知らないからね（・・・・・）

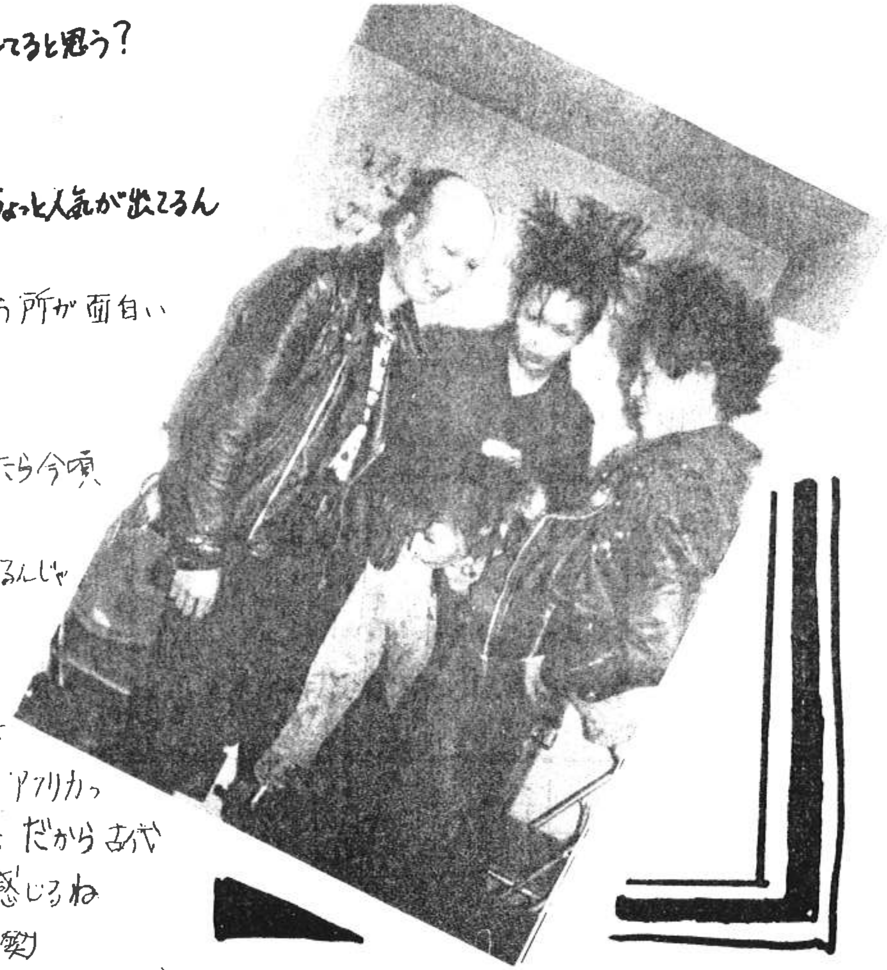
► レベル・ストリートII（GREAT PUNK HITS）の方はどうですか？

(マル)　ソノシートより数段自分達では進歩したと思う

イ　それはあるけどさあ　でもあれも録音失敗だね　ほとんどステレオ録りじゃないじゃん　あれモノクロっぽいじゃん

(マル)　でもあれはあれで良かったって言うかさあ
現在は満足じゃないって言うか・・・。





► 1年後のアブラダコはどうしてると思う？

トモ　NO！

(マル)　うーん　（うなる）

ヒ．浮遊体！　とりあえずちょっと人気が出てるんじゃないかな。

(マル)　先行きが判らないという所が面白いんじゃない

イ．質問が難し過ぎるね。

► じゃあ　アブラダコがなかったら今頃、何をしてると思いますか

イ．アフリカにでも旅に行ってるんじゃないかなあ（笑）

► どうしてアフリカへ？

ヒ　自分で言った事に責任持てよ

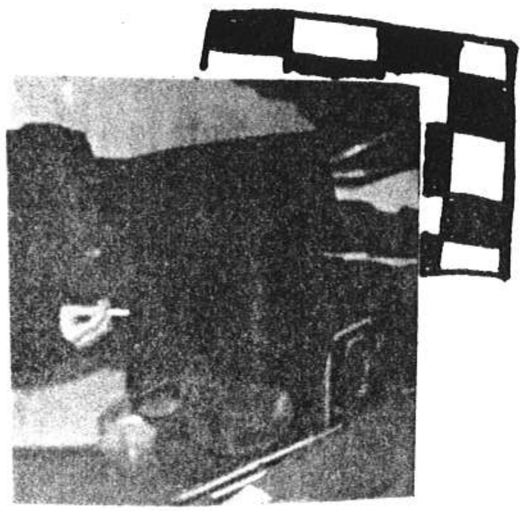
イ．そうねー（考えながーら）アフリカって所は歴史が古いでしょ　だから古代から現代までのロマンを感じるね
そこが魅力かな！（笑）

ヒ　どっちにしろ、ベースは弾いてたと思う

トモ　アブラダコやってなかったら・・・作家だね

► どんな？

トモ　まあ　普通の作家・・・



— 今まで月に2回の割合で屋根裏中心に演ってきましたけど以前に関西の方（京都、拾得等）で演ってどうでしたか？

イ．その時はナカナカ、でもなんつーの始めて行ってお客とかも始めて見る人多かったから・・・

ヒ　なんか最初は踊ってくれたりとか反応はなかったけど終ってから評判良かった。実は！

— 東京の客との違いなんかは感じましたか

イ　ちょっとまだ1回だけだから、何とも言えないけど大阪はハデって感じする。

— また地方で演りたいとか思いますか？

全員　演りたいね

▷ 具体的にどの辺で?

イ. 大阪、京都、名古屋。(埼玉とか言ってる人いる)

▷ 好きなミュージシャンは?

ヒ. 俺はミノル　ミノルね.

トモ. S.P.Kとか バージン プルンズとか

イ. 俺は ブルース ブラザース.(笑)

マル. 別に無い。

▷ いっしょに演ってみたい Bandとか ミュージシャン何かは?

ヒ. タコ八郎!!とさ (日本の)タコ!とオレらで **タコ部屋 GIG!** 演りたいね.

▷ LIVE演ってて失敗談とか やばかったことは ありますか?

イ. 特に俺に関してはあり過ぎて....

ヒ. あっ、オレ酔っぱらい. イズミは弦切ったり 手品下手だったと言う

トモ. 何言ってんだよ(笑)

イ. 駄目だよ そんな事言っちゃ. それを売り物にしてる.(何ですか?)

マ. 器材の面での故障とかはある。

ヒ. 失敗談というのは ないですね

▷ 収入源はバンド活動だけで?

イ. アルバイト. いちおうホワイトカラーの賢い仕事ですよ.

ヒ. 好きな時できるっちゅう奴で. →

まあ いろいろやってる.

トモ. モク拾い(笑).

まあ…そんなもんですよ.

マ. 収入源はありません.

▷ 貢いでくれる人がいるとか…?

マ. ….(笑) まぁテキトーにバイトやって.

▷ では自分から見たメンバーの性格みたいな事を言ってみて下さい。

ヒ. あっ俺 何か言われそうだなっ!

イ. マルちゃんは音的に神経質で ハセは人間的に狂ってて.

トモ. 何言ってんだよ(笑)

イ. ヒロシは一番安定してる. うんそうだね!!

ヒ. ヒロトモは例の悪魔と天使の同居

アブラ イズミは **タコ**

でなんだっけ? 俺昔考えたんだよな(笑) マルは アブラの **ヒ** で俺はタコの **ス**

マ. なかなかうまい事言うね 当たりさわりの無い言葉だね。

トモ. マルちゃんはあれ ドラムうまいんだよねー 8ビートのあのドラムの足ね. ペダルの置き方がね あーれは凄いよ. あれは凄い. それとね、マルちゃんのドラムのペダルは普通のと違うんだってね、作ってもらったんだってね.

マ. (笑) 違うよ、テメーで勝手にやったんだよ.

名前 HIROTOMO

担当

VO



生年月日

37年4こ18

趣味

読書 油絵

好きなスター

ニールヒル.

(S.P.K.)

名前 IZUMI

・生年月日.

・特技

嘘

・趣味

天体観測

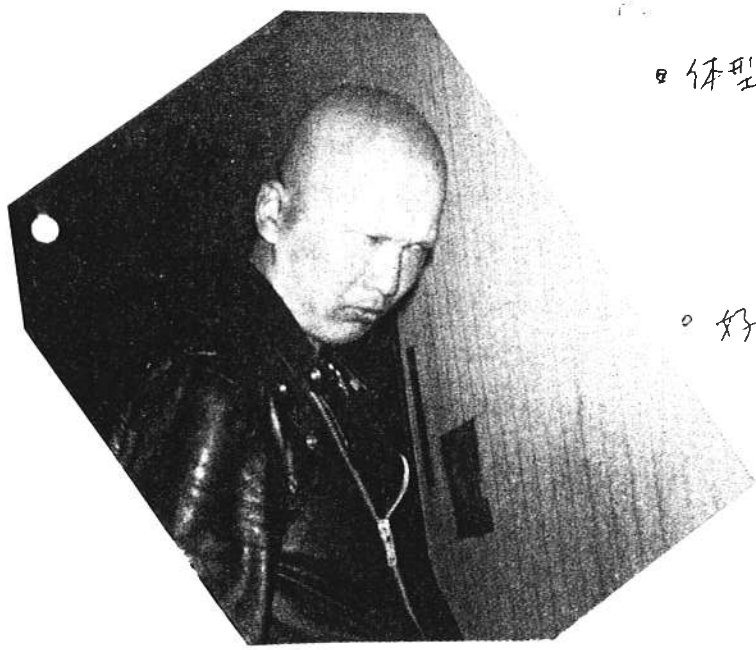
・体型の特徴

弱健病質

・お風呂の中でよく口ずさむ曲は?

天皇ウィズ」

・好きな言葉　墓場に復活







名前 担当

~~HIROSHI BASS~~

生年月日
36年2月16日

・体型の特徴
やせ型

・趣味
ビリヤード

・特技
サッカー

口癖
だいじょーぶ

悪い癖
臭いをかぐ

好きな言葉
おなおなじ

髪の手入れ方法
サイコー

トイレの所要時間は?
2分ぐらい

・好きなアイドル・スター
岡田奈々

自分の体で好きな部分は?
肩

トモ いやーそれではマ〜ル(なんは
全員 (笑) まだ言ってる
トモ バツルドラムうまいよ ドラムはうまいね
それでヒロシは、あれあれ、モデルから良いなァー、て思うんだよね (笑) それでまあベースはうまいね ベースはうまい。でこんなBandに居るのはもったいないと思って で〜まあイズミはギターもうちょっとうまくなってもらわないとね ー困っちゃうんだよね(笑) 本当に参ってるんだけど、人間性もいい加減で無責任きまわりないから何を考えてるんだかわからないと言う(笑) イズミとももう4年ぐらい一緒にやってるんだけど、どーも読み込めなくてね…
まあ〜こんなもんです インタイ(笑)

マル イズミは典型的なO型だね
イ. (笑) 何んだよ、それ
マル ヒロシは"淡白"、ヒロトモはねえ——何んだろうねえ〜?!
トモ まあ〜…、
マル わかんないね、わかんないや!

▷ 最近感激したことは?
ヒ. 箱根の彫刻の森美術館へ行ったこと!
トモ 電車に乗ってて、中央線ね でなんかねえ、お腹がぐるぐるって来て おならがブスーって出たんだよね でやばいなあ…と思って、駅のトイレに行って、パンツをおろして、見たら、ついてなかったんだよね それで感激した(笑)

注" ヒロトモさんは"酢"とコーヒーが駄目だそうで もおーお腹が下っちゃうそーです

マル 笑っていいとも!に今日(3月29日)ロジャー・テイラー(クイーン)が出ていたこと

▷ 健康の為に何かしてますか
全員 別に……
トモ 日本茶を飲んでいるんだよね 俺はタバコ1日3箱喫うから まあ お茶でビタミンCをね
ビタミンCじゃないよ ビタミンC(笑)
ビタミンCー!(発音注意)

▶(突然) 練習の割合はどれくらいですか?
ヒ 2週間に1回
トモ スタジオ2時間借りるんだけど遊んじゃって そのうち練習は15分!

▷ 平均年齢は?
イ. 21.5歳
▷ 平均年齢をいちばん上げているのは誰でしょう?
トモ オーオー! この2人(ヒロシさんとマルイさん)
マル 彼がいちばん下(イズミさん)

▷ 最後に何か云っておきたいことは?
☆ マネージャーを募集します。
年齢・性別・不問、ちゃんとできる人!

03-484-6717
こまちひろし(自宅)

と、云うことで、アブラダコのみなさん!
御協力、本当にありがとうございました。



名前 担当
MARU DRUMS

生年月日
3月16日

・髪の手入れ方法
ない

・好きなアイドル・スター
あかわやすこ

・体型の特徴
小さいケツ

・口癖
あいふ

・ズバリ!! 初体験は
まだです

・トイレの所要時間は?
クソで2分です!

好きな言葉
TO DRUNK
TO FUCK!


photograph #
APURADAKO
JAM JAM
Pearl
YAMAHA

引力のように見る人、聴く人を引楽する

一瞬も目がはなせない緊迫した雰囲気の中で
ちょっと異様にまで妖特に漂う

あ
ぶ
ら
DA KO"

個性の強い4人が4人で初めて成立し得る



総ては無理がなく、それでいて
不可解で見失なっている



今、最高に注目してほしい

と言って、今このBandは100%発揮しているとは思えないが…
今後も、期待したい

LIVE STATES

DAY. 3.29 Jam.

グレイト・リッチーズ"、COMA、バナナリパブリックの出演。
お客の動員数は、約80〜ぐらいで"、今日の出演Bandの組み合わせの為か、色々な人種が集まったといった感じ。
この日のトップはグレイトリッチーズ"！けっこう固定客以外もウケていて良かったんだけど"、あのルックス、もうちょっと、どーにかして下さい。続いて、バナナリパブリック登場：（ロカビリー）。このBandのウッド・ベース担当者は、アブラダコのひろしさんの弟さんでして、やたら似てます。次はコーマ。このBandは初めて見るBandだったから、凄い新鮮だったし、良いなぁ〜と思ってたんだけど"、演奏時間が長過ぎて、後半、ボケた。しらけているお客と、音をじっくり聞き入ってるお客との二手に割れたと云った感じ。そしてアブラダコ登場。お客の方は、待ち構えたように乗り出す…… ラストの曲は"原爆"。マルイさんが"レコードを聴いた印象で見てほしくない"という強気な言葉は、もう完全に否定することはできないと、つくづく思った。

DAY. 4.14. 屋根裏

Trash、グール、リドムの出演。この日は、HERD CORE PUNXということで"、スキンヘッズ"、モヒカン君といった個々のお客が勢揃いし、動員数はかなり良い。初めはグール登場、次はリドム。リドムは以前見た時は、スピードだけのBandだと思ってたけど"、この日は異常に面白かったし良かった。インパクトも強くなったんじゃない?! Vo.の人のミーハーなファンがかなりいたみたいだった。
続いて、アブラダコ登場。この日のお客の盛り上がりは異常だ。ステージにおされて行く人、スッコロンで"もがいている人… それでもMiltonのStaffは、決死の苦労で写真撮映。"ホワイト・ハウス"の曲演っている時は、凄かった。腕が揃っちゃって揃っちゃって…綺麗だった。とに角、この日のアブラダコのLIVEは、凄い熱気で、思い出すだけで、冷や汗が出ます。ラストは、Trash。
そしたら、あの有名な"チェッカーズ"のメンバーの1人が来ていたのに気づいた。

DAY. 4.19. 屋根裏

バイデディア、カインの出演。この日は雨が降っていて気温もかなり低かった為、お客は、30人〜ぐらい。それを想定してか、しっかり、長椅子が登場。
トップはカイン。昔より、よりいっそうポップに成った感じ。このBandも演奏時間が長いんだよね。良いなぁ…と思って初めのうちは、聴いているんだけど"、あまり長いと集中力が欠けて、だらけちゃうから、結果的にあまり良い印象でなくなってしまうのです。その点、あぶらだこって上手いなぁと思う。この日のあぶらだこのLIVEは、TrashのVoの人が来てたりして、
とてもアット・ホームな雰囲気、曲の選曲も個人的に良かった。
そして、ひろともさんのチョウネクタイ姿がたまらなかった。



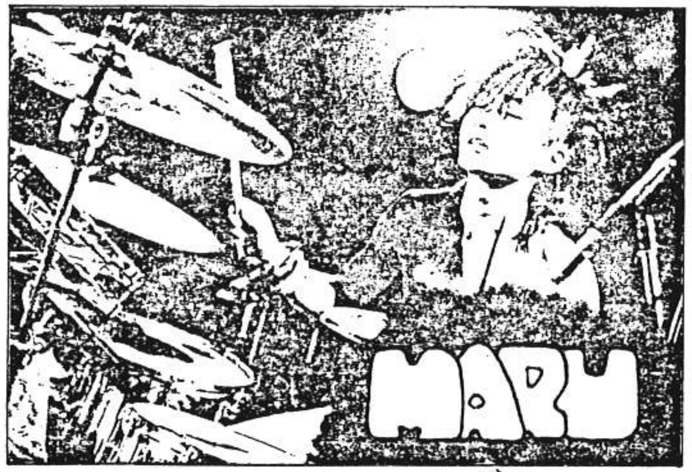
おもり

2.15 (FRI) SHINJUKU LOFT
結成2周年記念LIVE全曲集

あぶらだこ

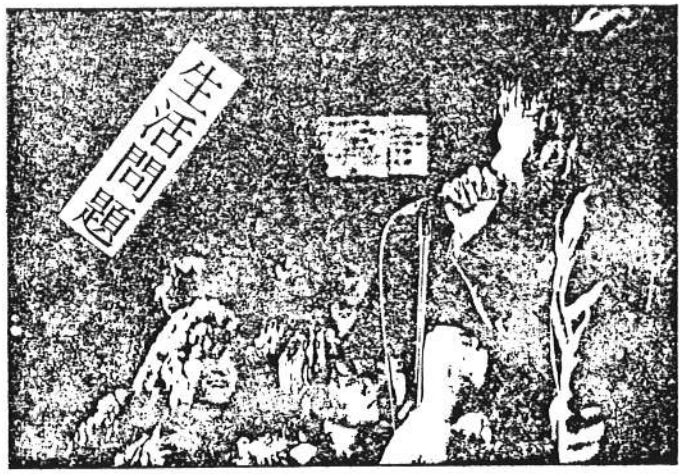
あぶら年表

83・2 チフス・変態クラブなどのメンバーによってあぶらだこ結成
・8 ADKよりファーストソノシート発売 （発売後1ヶ月で売り切れ）
・12 徳間ジャパン「グレート・パンク・ヒッツ」に参加（"米ニスト""クリスタル・ナハト"収録）
84・9 ADKから30cm EPリリース （あっという間に完売）
85・1 西武劇場ニューイヤーロックフェス出演（同月 21日TVで放映される）

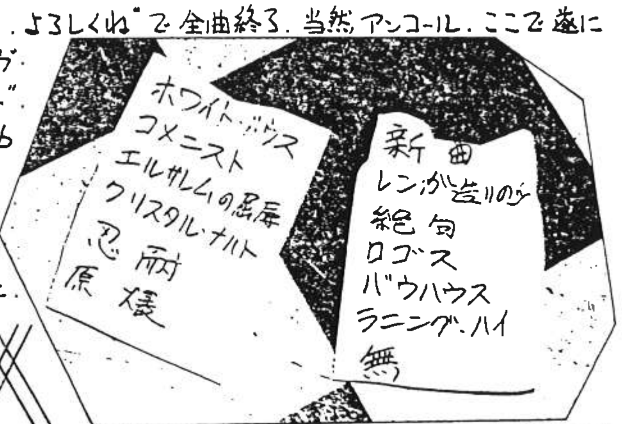


そして1985年2月、あぶらだこは結成2周年をむかえ、その記念ライヴを新宿LOFTでおこなった。この日はDSのマルイのラストステージということもあってかどうか開場前からかなりの数のPUNXが集まった。
ステージには大きな白い布がかけてあり、何だろうと思っていたら3月に六本木だか何かで上映するライヴフィルムの予告みたいのを上映する為のものだった。マダムとかサディのいわゆるポジパンばかりを集めたフィルムだったのだが音がないこともあって、全然おもしろくなかったと思ったのはわたしだけではないはず。↗

↘それが10分くらいで終わって、やっとバックの3人が登場。1曲目"OUT OF THE BODY"の長いイントロのあと すごい歓声とともにヒロトモ登場。前半は新しめの曲中心に進められ、後半ちょっと過ぎた頃のホワイトウルフのあたり大合唱から一挙に盛り上がり、エルサレムでボルテージは最高潮に達した。クリスタルナハト・忍耐となつかしめの曲が続き、ラスト原爆がはじまるとヒロトモが"どうも、どうも"を連呼。曲が終わり、マルの"あぶらしくたのむわー、よろしくね"で全曲終了。当然アンコール。ここで遂に幻の名曲"ギヴ・ミー・チョコレート"。ホントの初期5、6回しかやってない曲だからほとんどの人は知らなかったんじゃないかと思う。最後はヒロトモの"どうも。ありがとう、どうも"で幕を閉じた。







3・2 (SAT) 吉祥寺バウスシアター

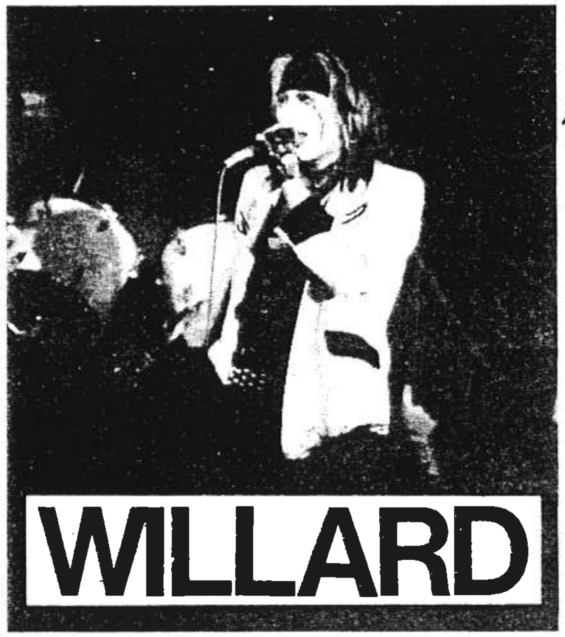


遂にタツヤラストのマスターベイション。真暗のステージに卑龍のタバコの火が赤く点る。客のノリも演奏も最高だった。

MASTURBATION

ラスト卑龍の"お・し・ま・い"という言葉が何とも意味深で胸に重くのしかかってくるようだった。





しかしこの日はすごい人だった。前の日まで結構チケットあまってるみたいな話だったので、ゆっくり行ったらあぶなく入れないところだった。チケット買えないで帰った人もいたみたいだったし。マスベの次はラフィンノーズ。1曲目のゲットザグローリーはすごい盛り上がったんだけど、途中、ちょっと中だるみが感じられた。最後の"聖者の行進"のアレンジは良かった。ラスト ウィラード、相変わらずアンコール2回もやって、飛び入りチャーミーとの共演も面白かった。





THE LOODS KATARU ▷

◎(前ページつづき)精力的にLIVEを活動を行ったバンドのひとつだったと思う。これからも頑張ってください。
次は有頂天。ずいぶん前に1度だけ見たことがあったのだけれど、こんなに良いとは思ってもいなかった。メロディアスさを売りにしてるバンドではないと思うのだけれども、メロディーはすごくきれいだし演奏も流石に巧い。ただ有頂天みたいなバンドはとかく誤解を受けやすい。今まで嫌いだと言っていた私の友達もはじめて見て意外と良いと言ったくらいだから、まだ聴いたことのない人は是非一度LIVEを見に行ってもらいたいと思います。

◎ラストはTHE LOODS. この日のルーズはかなり完成度の高いステージを展開した。私が見たルーズの中ではこの日が色々な意味でいちばん良かった。
総体的に見てデュカススペシャルはコンパクトにまとまっていてすごく"良い"ステージではあったのだけれども、ちょっとまともに行きすぎたきらいがあったんじゃないかなとも感じたけどやっぱり面白かったから良いや。
草々

ハロー わたしだ

ロックは葬式であってはいけない、と思う、ような気がする。

そこで"デュカス・セレクション"であるが、これは葬式ではない、断じてない、ような気がする。

ピース ピース

大戸さん又出させてねっ

'85年の3月(になると思う)にLPを出しちゃいます。よろしくなにしてほしいもんだ。

どもすいません

THE LOODS
西村



▷ THE LOODS 西村さん

※いきなり"何でも良いから書いてください"などという無責任な注文に笑顔でこたえてくださったD-DAY, 有頂天, THE LOODSのみなさんありがとうございました。



1 なまえ・パート
B. Hiroshi
2 今いちばん欲しいもの
お金
3 貯金は?
なし。
4 好きなTV番組
北の国から。

1 なまえ・パート
G. Yizumi
2 好きな場所

3 好きなタバコ
セブンスター
4 昨日の今頃どこで何をやってましたか
寝てた

1 なまえ・パート
Ds MARU
2 今までに大病は?
脱腸
3 趣味
絵画。
4 かっこいいと思う人を1人あげてください。
思い出せない。



あぶらだこ ヒロトモ ▷



1 なまえ・パート
Vo HIROTOMO
2 好きな食べもの
コーヒー
3 あなたの宗教

4 小学生の頃はどんな子
普通の子

マリンコーニア AKIさん ▷



デュカスセレクションVol.2

◎スペシャルの10日前に行われたのがこのデュカスセレクションVol.2。
出演は順番にスラッヂ, マリンコーニア, キャ→, あぶらだこ。
いちばん最初のスラッヂは、おそらくこの日はじめて聴いた客が多かったんじゃなかったかと思う。私なんかもそうだったのだが、食わず嫌いと云うかあまり良い印象は持っていなかったのだがいざ聴いてみると予想外にこれが良い。

1 なまえ・パート
Keiko Bass
2 よくきくレコード
マリ千鶴・マジョリカ
蓄縦
3 今一番ほしいもの
新しいBass
4 今までいちばん恐かった経験
親に殺されそうになった時

1. なまえ・パート
わしっこ Drums
2. 今, 100万円あったら何に使いますか
いろんなお菓子が食べたい
3. とくいわざ
手話・パントマイム
4. 最近, ムカついたこと
Punksにさいふをすられた
1万円かえせ〜〜

1 なまえ・パート
アキ・Vo
2 好きな場所
学校帰りの国分寺線
(生臭のニオイがするから)
3 好きな俳優
30年前のジェーリー・マクレーン
4 明日死んでしまうとしたら何をしますか
知らないもーんだ。













私見 あぶらだこ2周年にあたって…

by スタッフK

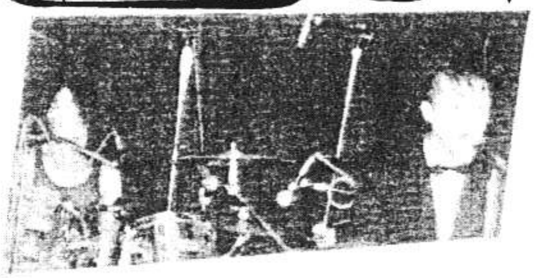
★あぶらだこは、WOOVOL 2のNEW BANDコーナーで小さく紹介して以来、この修羅VOL 2に至るまで、毎号必ず何らかの形で本誌に載り続けた唯一のバンドである。デビュー当時から知ってるわけではないが、去年1年であれよあれよという間に、ここまで大きくなってしまった。各メンバーの個性、バンドとしての、音としての個性。そしてインパクト。どれをとっても他の追従を許さない。そして当然の如く編集部のスタッフチャート1位のバンドであり続けたし、その存在は修羅（WOO）の原動力でさえあった。しかし、このバンドの一番の魅力であるアンバランスさ（不統一感）は、バンドという集合体にとっては最も危険な要素でもあるわけで、バンドの存続・維持は極めて難しい。結局の所、それが今回のメンバーチエンジ劇につながったのだろうし、初めてインタビューした時から危ない兆候は出ていた。それが2年間続けられた事が、あぶらだこの1つの奇跡であったと思う。ヒロトモとは対局にいたマルが抜けたら、あぶらだこは気の合うドラマーを迎えるだろう。その時、今のスリリングな部分がどれだけ残るだろうか。リズムも変わるだろうし……かくして、私とスタッフSにとっては1つのあぶらだこが終わった。そしてスタッフHやMe² にとっては新しいあぶらだこが始まる。













Ⓐぶらだこ 結成②周年記念ギグ at LOFT

あぶらだこ結成②周年記念ギグ 85・2・15

待望のあぶらだこLOFTワンマンギグです。これだけ大きくなったのに、昔からずっと30分しかやらない事で有名だった（？）あぶらが、2周年という事で全曲やる── それだけでもすごいし、ドラムの丸井君最後のステージ、という事で、間違いなく盛り上がりそうなギグだったし、実際そうだった。初めて全曲一度に聴いて感じた事は、ただただ、曲の良さ。去年のあぶらの東京でのギグは9割方観てるから、普通のバンドだったら飽きてきそうなものだけど、それがない。1曲1曲どれも良くて、改めてあぶらの偉大さを認識してしまった。しかし今日に至るまでには色々変化もあった。ヒロトモはメイクを始めたりやめたり、イズミ君はコーラスやめたり髪伸ばしたり、ヒロシ君は横髪がスッキリした位だけど変わった人だし。丸井君は……。そして何より変わったのはファンだろう。ところで1日遅れではあるけど2月15日のステージのアンコールに"ギブ・ミー・チョコレート"を歌って終わるなんてニクイ。そう言えばあぶらがアンコールに応えたのも今日が初めてのはず。…後でヒロトモ君はチョコレートをシッカリいくつかもらって、顔をクチャクチャにして喜んでいた。ほほえましい。でも、やはり2周年を手放しで喜ぶわけにはいかない。丸井君と共に、マネージャーのかやば君まで、今日限りでやめてしまうから…。その後新マネージャーは元アレルギーのマネージャーだった人に決まったそうだが、あの徳間ジャパンからレコード出すなんて、それでいいのだろうか？

FINISH！











次のページに、あぶらだこを抜けた丸井クンのインタヴューがあります

ドラマー MARU Interview

ex. あぶらだこ リップクリーム etc.... 現:ラフィン・ノーズ

M:マル. ミ:ミノル(リップクリーム)→飛び入りゲストでした。



あぶらだこ WOO VOL.3での インタヴュー当時 84.3.11



あぶらだこ 屋根裏時代.



あぶらだこ 東京バトルDAYSにて 84.6.24



あぶらだこ 仙台ツアー 84.9.15



あぶらだこ 2周年記念ギグ 85.2.15

※バーでかけない方が良かったのに。
M:あ、そういう声もある。ただよ、ストレートだとよ、俺オールバックしてたじゃん。やってるうち落っこちてきてどうしようもねぇ頭になってよ。それがヤでさ。自分じゃ結構気にいってんだよ、頭洗うと毛が抜けるけどよ。

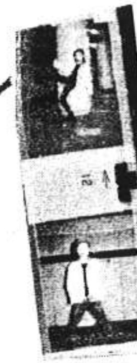
※好きなドラムのメーカーとかある?
M:一応、パール。モニターになったし(笑)。そのうちカタログの後ろに載るから。この間のロフトの時のタイコ、あれ俺のだもの。モニターになって安くなったから。

※リップクリームはすぐやめちゃったね。
M:だからよ、ダブルブッキングやってしまってよ、リップで大阪行って、あぶらもLIVE－INN で同じ日にやった事があってその時によー、うちの…もううちのって言えねぇけどよ、あぶらの奴に借りを作ってしまったと言うか、そういう事になってしまって…リップの方が先に決まってたんだけどさ。あぶらでLIVE－INN に出るって事もやっぱ大事じゃん。コンクリーツの清水が持ってきた話だから潰せねえって事あって。そういう事もあって、リップをやめるキッカケになったというかそういう約束になってしまった。
※バトルDAYS2が丸井君最後のステージになってしまったけど…なんかおかしなバンドだったんだよね…。今もおかしいけど。
M:そうそう、今もおかしい(笑)
ミ:おかしかねぇよ(笑)
※あぶらだこで出しきれない、丸井君の中のハードコア的な部分がリップでは発散出来て楽しそうに見えたけど。
M:っていうかさ、リップやる頃にさ、BAD BRAINS 聴いて、こりゃいいなあと思って。今でも好きだし、こーいうバンドやりてぇなーって盛り上がったからさー。あぶらやっててハードコアやりてぇってくすぶっててリップにいったっていうわけじゃあないよ。ジャンルとか関係なくこういうバンドやりてぇなって思ってさ。正直言ってハードコア今聞いててよ、BAD BRAINS以外あんまりパッとしねぇっていうか、あんまし面白くねぇなってのがある。あと…変則的なビートの音とかね…レゲエとかファンクとかブラックミュージックだな。

※何でラフィンノーズに入ったの?
M:ラフィンノーズいく前にあぶらをやめたいなと思ったわけ。いつかやめなきゃなんねえなと ずっと思ってた。だからよー、あれよ、あぶらでおれが叩いてるっていう存在理由が自分自身で感じられなかったっていうのがあるんだよな…。
ミ:よーするにお前はタイコ叩いてりゃいーんだろー
M:いや、わかってねーんだよー、おめーはよー。
ミ:いや、そーなんだよ、おめーはよー。
M:いや解かってないんだよ、それもあるけどな。
ミ:あるだろー。
M:あるけどよ、要するに俺自身がライブなり曲なりにここはこうしようとか、自分の思ってるものがあるじゃん。真剣に考えれば考えるほどさあいつらが望んでる音と俺が望んでる音とのさ何つーの、あまりにギャップが開きすぎたためにさ…わかっちゃいるけどバカらしくなっちゃうんだよな。だから曲はどうしようっていうんじゃなくて、ただステージで自分が目立てばいいっていうか、それ位にしか価値がなくなってるような気がしたわけ。
※でも丸井君抜けたらあぶらだこの音は変わるよ。
M:…んー、それはそうだろうな。でも俺のやりたい音はあぶらにいたら出せないってところがあったんだよな。曲つくってる段階にしてもよーただヒロトモが適当に曲持ってきてそれに俺がてきとーに合わせてアレンジして、で、やったらてきとーに曲になって、ライブやったらてきとーに客が入ってさ、てきとーに名前が広がってっていう、そういうプロセスがもうやんなっちゃったんだよな、俺。なんかバンドっていうのはそういうもんじゃねぇんじゃねぇかっていう気がするわけ。



LIP CREAM時代 at 屋根裏



※あぶらは個性の集まりで、特にヒロトモ君と丸井は正反対で、それがかえって魅力だったから…。ある程度他のバンドに浮気してもいいから、あぶらだこ基本にしてやってほしかった。リップみたいにね。ダブルブッキングさえやらなければ…。
M:やっぱそれが許されないわけよ。あぶらにいるって事自体…あいつらの気持ちもわかるけどね。俺よ、あぶらの前から売れねぇバンドやってきたけどよ、そのクセが抜けねぇんだよな。同時期に3～4バンドかけもちしてた事あってよ、で結局全部潰しちゃったとか、そういうのあったからよ、やっぱダメなんだろうなと思うんだけど…やー特にドラマーってよ、1つのバンドの中にいると飽きるっていうんじゃねぇけど…いろんなジャンル聴きたがるじゃん。縛られんのがやなんだよな。だから俺はこれからも精力的にやっていきたいし。ラフィンノーズに入ったって事も俺個人の考えから言わせればあくまでも過程だし。もちろんラフィンノーズはそれはそれでやっていくけど。
※丸井君のドラムって、ロールが要だったと思うのね。それがあぶらだこの音の特徴になってたし、そういうバンド他にあんまりなかったから惜しいなって思う。
M:で、逆にさ、あぶらで叩きまくってたじゃん、俺、ロール多用でさ。で、やってる段階でちょっと初心にたち帰りたいなっていう気持ちがいくらかあったのね。もっと基本パターンに戻ってっていうか。その頃ちょうどラフィンノーズがオムニバスで『I CAN'T TRAST A WOMAN』出したじゃん。あれ聴いてなんか単純に新鮮に感じたわけ。だからラフィンの場合の俺の立場ってのは、自分自身でもっとパイプレイに徹した上で自分のカラーをどの位出せるかなって事を課題にしてやっていきたいなと思って。やっぱうまくなりたいしよ、俺は。はっきり言ってダメじゃん、今の段階ではな。まだ名前は出せねぇけど、1～2、ラフィン以外のプロジェクトを具体的に考えているんだよ。またこれでラフィンに縛られたら俺、あぶらやめた意味なくなっちゃうもん。ま、内心はいい気持ちじゃないかもしれないけど、入る時にその条件のんでくれたから、じゃ、やろうかなって…。バンド以外でもやりてぇ事あるしな。



ミノル君との〇〇シーン♥



'85.2.19現在. このインタヴューした日



やりてぇ音楽が多くて困るなー。ラフィンで俺のやりたい音をさ、なんつーの、やろうぜーみたいな感じで曲が出来るじゃない。ラフィンにとってはマイナスになるよう気がするし、あぶらの場合もそういうとこあったかもしれない。俺、欲張りだからよ、ヘビーメタルもやりてぇし、BAD BRAINSみたいなハードコアはやりてぇし、チャカカーンみてぇなファンキーなのやレゲエもやりてぇしさ、そんなの1つのバンドで出来るわけねぇじゃん。
※チャカカーンまでいっちゃうとね…。

M:仙台ツアー、あれは気分よかったな。思わず外タレのノリだったぜ、ひそかにあれは一。何か単純にうれしいな。バンドやってて良かった、みたいな…。ただよ、逆にわざわざツアー来て全然ノリが悪くてっていうか客が入んねぇとやんなるけどよー、遠くに行けば行くほどよー。

M:俺もよ、レゲエバンド真剣にやろうと思ったんだけどよ、最近あーゆーのはマジにやったらいけねぇんじゃねぇかって気がしてきてよ。
ミ:そうだよ。俺も絶対そう思うぜ。
M:遊びだったらいいけどよ、マジにやったら虚しくなっちゃうんじゃねぇかと思ってよ。皿が違うからなー、結局なー。やっぱりよ、もともとレゲエ好きだったけどよー、BAD BRAINS出てから、こりゃレゲエしかねぇという確信をしてしまったね。やっぱB BRAINS一番いいわ、俺。
ミ:あれ、何にも考えねぇからかっこいいんだよ。
M:そうそう、ルックス的にも最高だよ、あいつら。
ミ:アディダスのジャージ着てんだよ。最高にかっこいいじゃん。
M:それでハードコアやっちゃうんだぜ。そんでおめー、キュ～ンってやっちゃうんだぜー(笑)でもはっきり言って、俺とミノルはまるっきり正反対だな。ヒロトモとも違うけどよ、多分こいつとバンドずっとやってたら絶対別れるぜ。
※友達でいる分にはいいんじゃない?
M:そうそう。でもよ、俺やっぱリップにいた頃は楽しかったよ。音とかさ、やっぱ一番楽しかったね。



あぶらだこ



—— まず、バンド組むきっかけは？
全員：・・・・・・・・。
—— ADKから1000枚プレスしたわけだけど、自信あった？
丸井：最初はないよ、やっぱ。
—— ヒロトモ君のキャラクターなんだけど、わりとコミカルなパンクバンドで？
ヒロトモ：いや〜それはまちがいだよ。まあ、まちがいというよりね、俺はそんなに“コミカル”っていう人間でもないからサ、
丸井：LIVEなんか見ていてもサ、わりとコミカルじゃ、ないじゃん？
—— ハードコアって、こけおどしな所があって、暴力的な所があるけど、あぶらだこはちがうね？
丸井：そういうのってもうあきちゃったし…。
—— じゃあ、暴れないで音楽一筋っていうのは結成当時から？
ヒロトモ：うん！これからはどんどん変わると思うけど…。
—— チェーンもって暴れるとか？
ヒロトモ：NO！NO！NO！これからはもうちょっとアバン…ギャルドっぽくやろうかなあ…と。それから、ちょっと変わったこともしたいしね。
—— ヒロトモ君は「自分達はパンクバンドじゃないよ」と言っていたけど、他のメンバーはどう思ってるの？
丸井：それは見る人が決める事でいいんじゃないの。
ヒロトモ：今の、よかった！
丸井：バッチリだろ！
ヒロトモ：そういう事だよ、（笑）



イズミ：“パンク”っていうのは、人が作った言葉だからサ、まあそんなのは関係ないんじゃないの、何でもいいんだけどね！ロックでも音楽でも…。
—— 歌詞にはメッセージ性とか持たせてるの？
ヒロトモ：まあそうだね、…比ゆと現実の空間っていうのがあるでしょ？そういうのを俺としては大事にしたいと思っているんだ。
—— 例えば、「反戦反核」っていう考えもってて、それをバンドで表すと、もっと違うもので持っていこうとしてるの？
ヒロトモ：それは全然ない。音楽で何かを変えようとか、世の中を変えようっていうのはできないし。完全にただ、疲れるしね。
—— じゃあ、俗に言う左翼バンドじゃないんだ？
ヒロトモ：うん、左翼でも右翼でもない！
—— ヒロトモ君の歌詞に他のメンバーは干渉するの？
丸井：NOタッチ！最初は注文つけようか、とも考えたけど。ヒロトモが勝手にやった方がかえっていいんじゃないか、と…。
—— 客に押しつけるROCKってあるじゃん。例えばMODSとかサ、ああいうのは関係ない？
ヒロトモ：ああいうのって、結局、偽善者じゃない…っていうか、俳優と変わんないじゃん。“ひまわり団”とサ。あんなことしてもサ、自分で自分が恥ずかしいし。あれはハッキリ言って商売じゃない。ビジネスじゃない。たかがバンドだし、そこまでしてバンドやりたくないし。
—— ビジネスっていう感じじゃない？
ヒロトモ：いやあ、半々だね、結局このバンドっていうのは4人の思想の妥協によるものだから。
—— じゃあ、わりと最初から息が合ってるというんじゃなくてみんなで合わせてるっていう部分があるのかな？
丸井：うん！まあそれはあるね。
—— それがうまくいってる秘けつかな？
丸井：う〜ん。まあ何をするにもサ、4人いればどっかで妥協しなきゃならないし。
—— その妥協って苦しくない？
丸井：それはCASE BY CASEだね。



—— 今、PUNK BANDと活動すること多いでしょ？姿勢がちがってるけど、その辺のギャップてある？
丸井：まだサ、考えながら行動してるっていうわけじゃないから…。
ヒロトモ：ギャップは別に感じないんだ。バンドって思想の集団でしょ。ハードコアバンドだったら、ハードコアバンドの持ってる可能性をアピールしてサ。バンドはバンドでちがうんだからさ、1つ1つそういうのを大事にしたいんだよね。
—— じゃあバンド同志で友達としてつながりを大切にしてる？
丸井：まあ俺なんか、COMESやEXECUTEでたたいたりしてるし…でもナアナアになるのが一番よくないね。



自滅もあるし。
—— この間、WOO主催のLIVEに出てもらったんだけど、あれはいろんなタイプのバンドが一緒でどうだった？
丸井：おもしろいんじゃない。
—— でも、ノラないでしょ？ハードコアとちがって。
ヒロトモ：ああ、別に俺としては客に自由にしてほしいんだよね。好きにして欲しいんだよね。
—— この前は外でやってもらったけど、どうだった？
ヒロトモ：俺としては野外って好きじゃないんだよね。解放感があるでしょ、客に。それで説得力という部分が客に伝わんないし。
—— じゃあ客にどんな色を与えたい？
ヒロトモ：う〜ん最近の若い人ってサ、妙になんか頭のいい人間ばっかりでしょ。先の事ばっかり考えてサ、それよりも、もっと頭を楽にしてほしいな。
イズミ：うちの場合、野外向きじゃないって感じ。説得力でもってるバンドだからサ、それが欠けちゃったらまずいし…。
丸井：だからサ、外でやりたかったのは、タダだし、関係ない人に見せたかったんだ。客にアピールするとかは別に期待してなかった。ただ、環境の変わったとこでやりたかっただけだし…でもいいとか、悪いとかは別として、おもしろかったね。ローラーとかサ、あの辺でか、見せ物的に遊びたかったね。
イズミ：外にしても内にしてもサ、このバンドがやりたいっていうのを100％やってないし…だから外の方が内に比べれば難しいっていう感じでした。
—— ひろし君は？
ひろし：いい思い出になりました（笑）気もちよかった♡
—— では今度は曲づくりですけど、どうやってるの？
ひろし：大体原曲ををヒロトモがつくってきて、それをスタジオでつくるという…他と変わらないです。
イズミ：どんどんサイケデリックにアレンジしていくという…。
—— あぶらだこが出た頃ってハードコア全盛だったけど、当時あぶらだこは違ってたよね？最初はハードコアをやろうと思ってたの？違うのをやろうと思ってたの？
イズミ：最初からハードコアと違うのをやろうと思ってた。
丸井：俺はあぶらだこに入る前にハードコアバンドやってたんだ。それで初めはハードコア捨てきれなくて、やろうと思ってたんだけどね、で他のバンドでうさ晴らししてたんだ。でももうあきたしね。家できくのもイヤだし…。でも結果的には違う音をやりました。
—— ひろし君は？
ひろし：やっぱり格好もパンクだし他のハードコアと一緒にやってそれなりに見て欲しかったんだけど…ヒロトモ見てこいつだったら一匹狼っていうか、独立できると思ったんだ。さっきマルが言ったように他のバンドとナアナアになりたくないんだよね。
丸井：だからサ、そういうのもあるけど、友達関係ってのはいいけど金銭的にもいろいろあるし…タダで入る奴って多いじゃん。それじゃあちょっと…バンドだって大きくならないしな。
—— 最近、自主企画なんてやってる？
ひろし：あ！屋根裏でレギュラーが決まったんだ！
—— じゃあ、今年、どのくらいねらってる？
ヒロトモ：わかんないね。
ひろし：まず、大きい所でやりたいね。
丸井：だから、俺らだけでもってるっていう感じで確立したいね。



—— 屋根裏でやって客呼べる自信ないってある？
ひろし：その辺がよくわかんないんだよね。
ヒロトモ：う〜んどうかなあ。自信ないなあ〜入んないでしょ。
—— ツアーで地方の客の反応はちがう？
丸井：場所にもよるけど、結構おとなしい。大阪は盛り上がったけどね。でも大阪にしてもサ、まず「見る」っていう感じだね。「関東のバンド」かっていう感じで。
—— 「グレートパンクヒッツ」の話だけど、あれは結局、PUNKっていうんでみんなまとめられちゃったんだけど？
ヒロトモ：別にサ、みんなに聴いてもらえればいいって感じで手段は選ばないね。なんでもいい…
—— 結局、「原爆」がカットされちゃったけど、タムさんの話によると「原爆に犯された…」がレコ倫に引っかかったんじゃないかと…。
ヒロトモ：世の中が世の中だからねェ〜
イズミ：レコ倫ってさあ…どっちが社会の秩序乱してるかわかんないよなあ〜



—— あぶらだことしては「原爆」入れたかったでしょう？
ヒロトモ：いや〜、俺はサ「原爆」はもうソノシートだけにしたかった。
—— じゃあ、レコ倫に引っかかった事でこれからに影響する？
ヒロトモ：それはないです。
丸井：まあ、メジャーっていう話が出れば ちがうけど…。

――「グレ・パン」で、他のバンドとのかねあいは気にしなかった？例えばGISMとかEXECUTEとかと一緒で？
丸井：GISMやEXECUTEって、やっぱりネームバリューあるじゃん。そういう点で、同じラインに立てたなあって感じだな。



――メジャーから話がきたら、すぐ、やる？
丸井：やるんじゃないの。
ヒロトモ：まあ、条件だな。メジャーはね。
――実際にはないの？
ヒロトモ：ないんです。
丸井：いやあ、実はジャパンからあったんだ。「どうですかねぇ～」とか。まあ向こうとしては様子見てるんだろうけど。
――例えば「宝島」とかメジャー雑誌にセコセコ足を運んでレコード置いてくるとかはしないの？
ひろし：レコードとか置きに行きたいけど…みんな出無精だから…。
ヒロトモ：だからサ、雑誌なんていうのはいい加減じゃん。ああいうのは金もうけだからサ。あまり好きじゃないな。まあ、ああいうのはサ、株と同じじゃん。そうでしょ。だからサ、そういうのをうまく利用してサ、そんなもんだよ。
――単刀直入に聞くけど、メジャーって利用できると思う？
ヒロトモ：う～んどうかなあ…思う？
――俺は思うよ！
ヒロトモ：俺も思う。



――どうして思う？
ヒロトモ：それはね、第六感。（笑）
――今度ADKからレコード出すそうだけど、どんな感じ？
ヒロトモ：今度はソノシートとは違う感じになると思うけど…。
ひろし：まあ音も、色っていうのが出てきたから1stとは違う感じで…。



――もうレコーディング入るの？
ひろし：5月から。
――CROSS調の曲を聴いた時、ハードパンクって感じでびっくりしたけど…。
丸井：俺、ハードパンクって言われるの一番イヤだな。
ヒロトモ：俺、すごくCROSS好きなんだな。姿勢が徹底してるでしょう。
――じゃあ、ああいうポリティックな姿勢ってどう？
ヒロトモ：好きだね。
イズミ：ポリティックって感じ



丸井：姿勢なんてどうでもいいと思うよ。俺はネ、詞だってどうでもいいんだよ。俺なんか10年近く聴いてるけど、向こう物ばっかりじゃない。だから歌詞なんて聴いてないんだよね。実際、詞よりもボーカルの歌の入れ方のほうが、ずっと興味あるしね。
――オーディエンスとしてアンダーグラウンドの世界に入り始めたのはいつ頃？
丸井：う～ん、何年ぐらいかな、フリクションとか、あの辺かな。
ひろし：東京ロッカーズとかリザードとか、ぐらいかな。
イズミ：3年ぐらいかなあ～。
――その頃のバンドに影響された？ヒロトモ君とかは？
ヒロトモ：う～ん…それはないね。
丸井：ヒロトモとかイズミなんかサ、いきなりこっち来て、この世界に入ってるじゃん、オーディエンスって感じじゃないじゃん。
――じゃあ今度出るレコードの話をもう少し…曲なんか、決まってる？
丸井：いや、まだ。
ヒロトモ：決まってる



――言ってる事がちがってる～。
丸井：いつもこんな感じだよ。（笑）
――どんな感じなのかな？
ヒロトモ：今度は…ポジシブっぽいね。
丸井：え！？ああ、ポジティブね。
ヒロトモ：ああ、そうとも言うね（笑）
――じゃあ、歌詞なんかも鋭いんだ？
ヒロトモ：あ！今度は歌詞カードつきますから。
丸井：…そうなんだ～、知らないんだその話。
ヒロトモ：だから今度は詞も聴いて欲しいんだ。
――今までは別によかったの？
ヒロトモ：いや～俺の聴いてもわかんないでしょ？
丸井：俺なんか、全然知らない。

――知らないの？じゃあ違う事言っても気がつかないんだ？
丸井：うん、わからない。
――じゃあ、詞の部分で最後の砦を守ってるんだ？
ヒロトモ：まあ～そういえばそうであって、結局平凡なんじゃないの。
丸井：俺も前は作ってたけどサ、ダメなんだよ。ヒロトモに合わないんだよ。唄いづらいんじゃないの？
――普段の生活とバンドとギャップある？例えばバイト先の人を殴りたくなるとか…
丸井：そういうのはないね。そういうバイトしてないし…。
――道を歩いてる人を殴りたくなる、とかない？
丸井：それは、しょっちゅうだよ。メチャクチャあるよ。
ヒロトモ：俺はないね。
――じゃあ、結構、普段の生活がバンドと変わらないんだ？



ヒロトモ：そうね。
丸井：かえってさあ、ヒロトモなんかバンドになったら、おさえてる方だよ。おとなしいよ。それよりバンドやってない時の方が恐ろしいよ。ただ電車に乗ってる時、とか…。
――バンドの方でおさえてて、欲求不満にならない？
ヒロトモ：いや～好きだから、それはそれでいいんじゃないかと…
イズミ：まあ、あぶらだことしては、かけだしのバンドだし、やっぱりそういうバンドは、おさえて当然だって思うし…
――「かけ出し」でなくなったら、問題にならない？
イズミ：まあ～人間なんて大した事ないから、これからでっかくなっても、まあつまらない人間だからいいんじゃないの。
丸井：どこのバンドにもつきまとうんじゃないの、そういうのは。
――じゃあ、最後に一言ずつ…。
ヒロトモ：ジャンルに関係なく、いろんな奴は聴いて欲しい。
イズミ：今までにないバンドになりたい。
丸井：自分が納得いく音を出していきたい。
――音に妥協しないで？
丸井：そうそう！
ヒロトモ：これからもどんどん来て欲しいね。だから普通の人にも来て欲しいわけ。
ひろし：自分達の音を確立して、それをいろんな人に聴いて欲しいけど、パンク・ロックとしてとしてじゃなくて、あぶらロックっていうか、PUNKっていう言葉ぬかしちゃって、何とかロックで、その道で第1人者になれればと思っているんだ。



ヒロトモ：だから俺としては、客を弾圧しようとかは考えないで、客が「何考えてやっているんだろうな」とか、「何でこんな事をしょーもなくやってるんだろな」と思いながら見て欲しいわけです。
丸井：だからサ、パンクだからっていい加減な練習はしたくないんだよね。べつにメチャクチャうまくなる必要はないけど、客から金とってやってる以上はサ、いい加減にやりたくないしね。自分で考えてもまだまだだと思うし…
ヒロトモ：結局サ、物質的には弾圧されても仕方ない問題だからサ、頭ぐらいはサ、自由に考えて欲しい。それだけです！！
――今日はどうもありがとうございました。☆



